



「に」げずに
「し」んじて
「かん」しゃして
「き」ようりよくする

1月

2025年度 西神吉小だより

加古川市立西神吉小学校

学校通信

No. 136

～ 朝会で ～

13日（火）の朝会では、次のようなお話をしました。

朝会で話したこと

ピッカリ！
ピッカリ！



西神吉っ子のみなさん、おはようございます。

始業式の時に、校長先生は、大きく成長するために、積極的にチャレンジし、努力をしようというお話をしました。そのために、『大切なこと にしかんき』が自分を大きく成長させるポイントだということも話しました。覚えていますね。

3学期が始まって今日は4日目です。ということは、6年生の残りの登校日数は今日が終われば46日、5年生から1年生は47日です。短い3学期の1日、1日を、一瞬一瞬を大切にしてお過ごししてほしいと、校長先生は思っています。

みなさんはどうですか。3学期が始まってからの4日間の学校生活を大切にできましたか。流されるがままに、何となく、ボーっと過ごしているとしたら、あっという間に卒業式を迎えていた、5年生から1年生もそうです。気が付いたら修了式が終わっていた、ということになってしまいます。

そうならないために、今日は、みなさんに「心のスイッチ」という詩を紹介します。

「心のスイッチ」

東井 義雄

人間の目は ふしぎな 目
見ようという心がなかったら 見えていても 見えない
人間の耳は ふしぎな 耳
聞こうという心がなかったら 聞いていても 聞こえない
頭も そうだ
はじめから よい頭 わるい頭の 区別が あるのではないようだ
「よし、やるぞ！」と
心のスイッチが入ると
頭も 素晴らしいはたらきをしはじめる
心のスイッチが 人間を つまらなくもし すばらしくもしていく
電灯のスイッチが 家の中を明るくし 暗くもするように

心のスイッチがどこにあるのか、どうやってスイッチを入れるのかは、人それぞれ違います。だから、あなたの心のスイッチがどこにあって、どうやって入れるのか、誰も分かりません。でも、たった一人、たった一人だけ、それを知っている人がいます。それは、自分自身です。だから、自分で心のスイッチを見つけ、自分で心のスイッチを入れるしかありません。

東井さんは、こうも言っています。

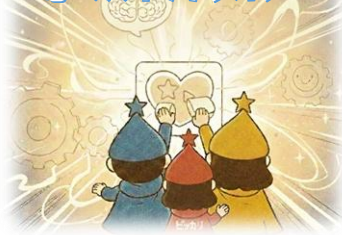
「あすがある、あさってがあると考えている間は、なんにもありはしない。

かんじんの「今」さえないんだから。」

つまり、今、見ようという心で見て、聞こうという心で聞いている人は、すでにスイッチを見つけて、スイッチを入れることができた人ですね。そうでない人は、今、心のスイッチを見つけだし、スイッチを入れましょう。

さあ、卒業式、修了式の日まで、心のスイッチをしっかりと入れて進んでいきましょう。これで校長先生のお話を終わります。

心のスイッチ、オン！



校長からのお話の後、生徒指導担当の先生等からもお話がありました。中でも「子どもだけで校区外に行かないこと」「きまりやルールを守って遊ぶこと」を必ず守りましょう。これまでもずっと言われていることです。それを何度も言うのは、守れていない人がいるからです。それだけ大切なことだからです。

進級、卒業までに、西神吉っ子全員が当たり前を守れていることに変えてほしいと思います。